

月例統計報告（令和2年8月）

令和2年8月31日
企画振興部

1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（令和2年8月1日現在）） 1

本県の総人口は、953,582人（男 448,526人 女 505,056人）
前月に比べ、843人（0.09%）減少
自然増減 817人の減少（出生者 420人 死亡者 1,237人）
社会増減 26人の減少（県内への転入者 848人 県外への転出者 874人）
この1年間では、14,158人（1.46%）の減少

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（令和2年6月分）） 2

秋田県鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 95.5 : 前月比 3.2%上昇（4か月ぶりの上昇）
原指数 95.2 : 前年同月比 2.3%低下
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 80.2 : 前月比 1.9%上昇

(2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（令和2年6月分）） 3

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出
現金給与総額 339,463円 : 前月比 52.4%増、前年同月比 9.8%減
総実労働時間 148.7時間 : 前月比 10.2%増、前年同月比 2.9%減
常用雇用指数 100.9（平成27年=100）
: 前月比 0.3%減、前年同月比 0.6%減

(3) 物価動向（消費者物価指数（令和2年6月分）） 4

秋田市消費者物価指数 102.4（平成27年=100）
前月比 同水準、前年同月比 0.2%下落
全国の消費者物価指数 101.7（平成27年=100）
前月比 0.1%上昇、前年同月比 0.1%上昇

(4) 景気動向（景気動向指数（令和2年6月分）） 5

先行指数 94.8 前月を17.5ポイント上回り、4か月ぶりに上昇
一致指数 71.6 前月を0.1ポイント下回り、4か月連続で下降
遅行指数 94.3 前月を0.6ポイント上回り、2か月ぶりに上昇

3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国） 6~7

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報)(令和2年8月1日現在)」)

(1) 令和2年8月1日現在の本県の総人口は953,582人(男 448,526人 女 505,056人)

となり、前月に比べ843人(0.09%)の減少となった。

自然増減 817人の減少(出生者 420人 死亡者 1,237人)

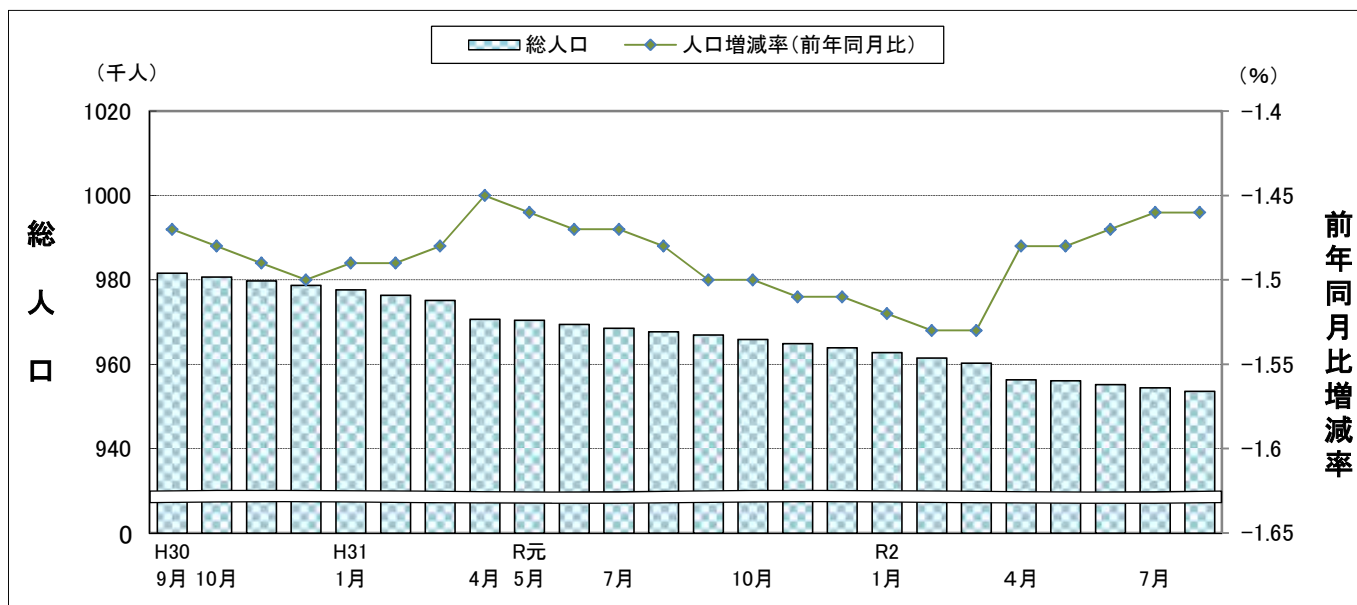
社会増減 26人の減少(県内への転入者 848人 県外への転出者 874人)

(2) この1年間では、14,158人(1.46%)の減少となった。

自然増減 11,094人の減少(出生者 4,527人 死亡者 15,621人)

社会増減 3,064人の減少(県内への転入者 12,148人 県外への転出者 15,212人)

(3) 世帯数は389,829世帯となり、前月に比べ132世帯の増加となった。



○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
H30.10.1 ~ R元.9.30	4,863	15,703	-10,840	12,618	16,535	-3,917	-14,757
R元(2019)年 8月	385	1,268	-883	1,076	969	107	-776
" 9月	396	1,208	-812	787	1,012	-225	-1,037
" 10月	394	1,351	-957	780	818	-38	-995
" 11月	361	1,413	-1,052	769	713	56	-996
" 12月	353	1,401	-1,048	684	787	-103	-1,151
R2(2020)年 1月	380	1,529	-1,149	602	734	-132	-1,281
" 2月	331	1,235	-904	643	972	-329	-1,233
" 3月	363	1,336	-973	2,493	5,445	-2,952	-3,925
" 4月	396	1,264	-868	2,106	1,491	615	-253
" 5月	343	1,220	-877	648	653	-5	-882
" 6月	405	1,159	-754	712	744	-32	-786
" 7月	420	1,237	-817	848	874	-26	-843
直近1年間の累計 (R元.8~R2.7)	4,527	15,621	-11,094	12,148	15,212	-3,064	-14,158

(参考)

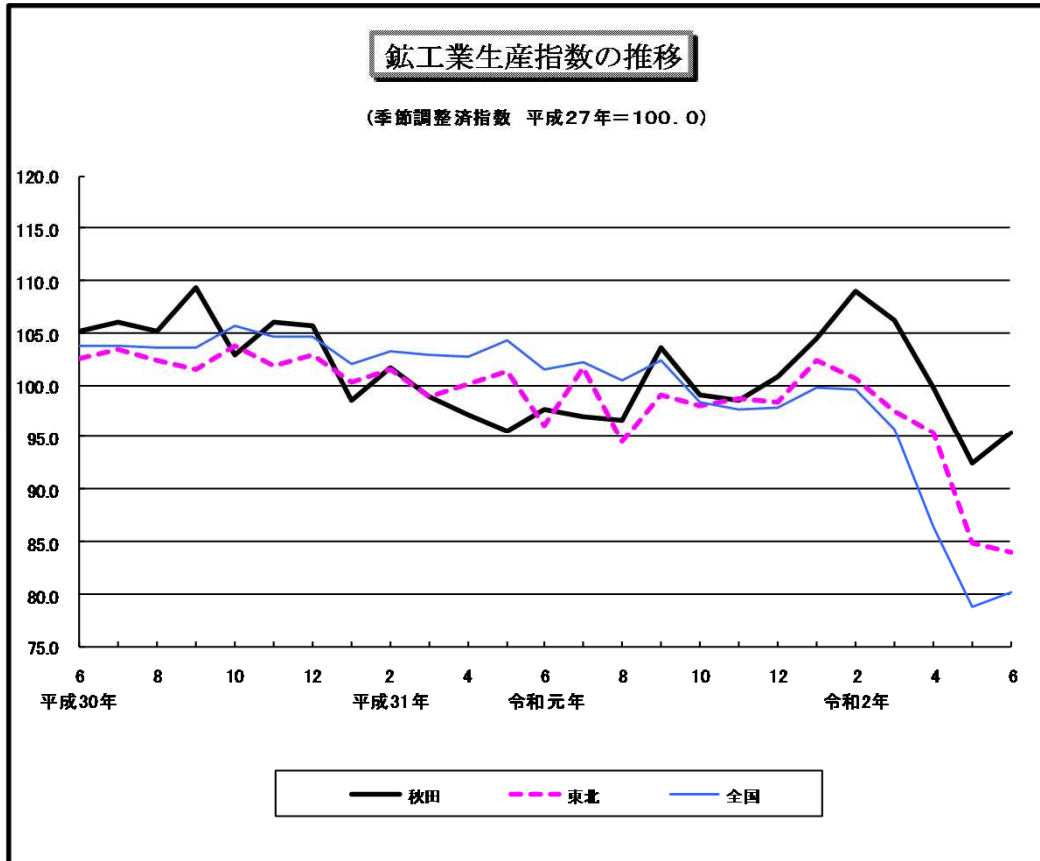
H30.8~R元.7の累計	4,954	15,562	-10,608	12,483	16,420	-3,937	-14,545
---------------	-------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和2年6月分)」)

令和2年6月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が95.5(前月比3.2%増)となり、4か月ぶりに上昇した。また、原指数は95.2となり、前年同月と比べ2.3%の低下となった。

なお、全国の季節調整済指数は80.2となり、前月比で1.9%の上昇となった。また、東北は84.0となり、前月比で1.1%の低下となった。



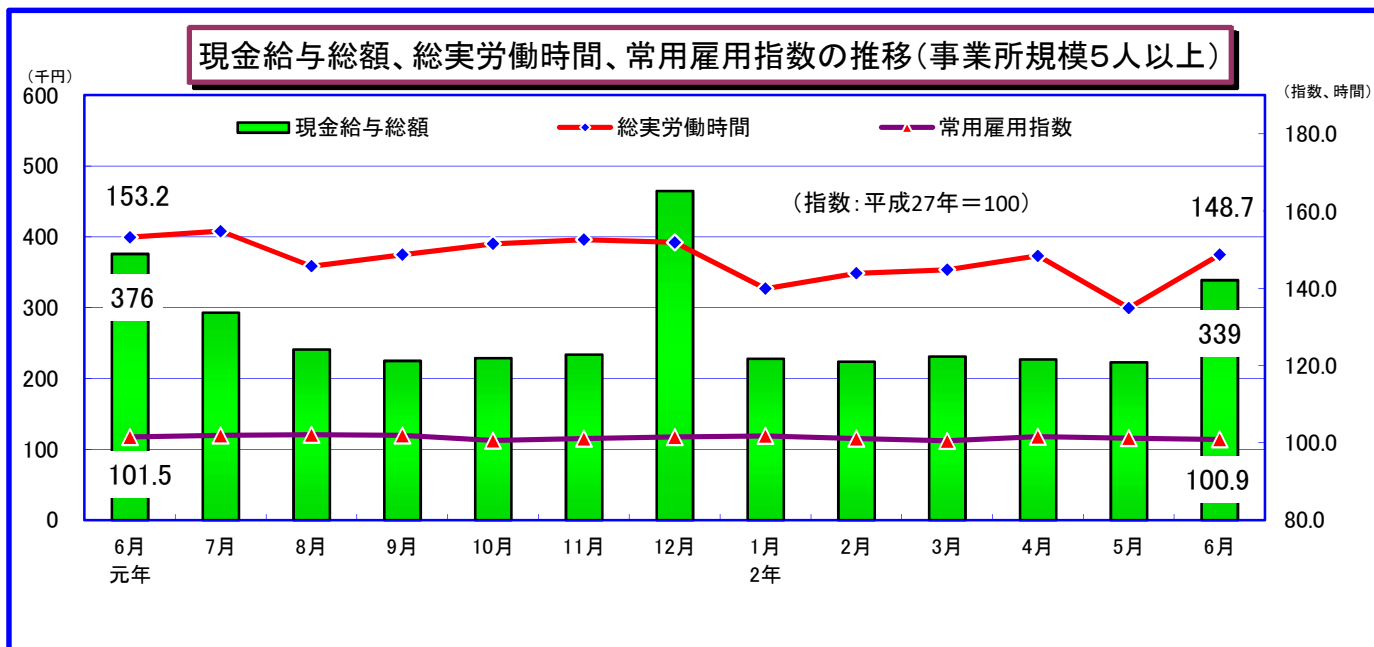
○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
食料品工業	208.4	22.4	冷凍調理食品
生産用機械工業	111.4	43.0	産業用ロボット、その他の特殊産業用機械
金属製品工業	129.2	26.8	配管工事用附属品
□低下した主な業種			
電子部品・デバイス工業	79.7	▲ 7.6	セラミックコンデンサ
パルプ・紙・紙加工品工業	77.4	▲ 35.6	段ボール原紙、製紙パルプ

(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和2年6月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和2年6月の現金給与総額は339,463円となり、前月比で52.4%の増、前年同月と比べ9.8%の減となった。
 総実労働時間数は148.7時間となり、前月比で10.2%の増、前年同月と比べ2.9%の減となった。
 常用雇用指数は100.9となり、前月比で0.3%の減、前年同月と比べ0.6%の減となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	241,485	54.1
教育、学習支援業	802,189	15.1
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
サービス業	211,809	▲ 45.9
運輸業、郵便業	345,821	▲ 25.1
医療、福祉	340,647	▲ 20.1

2 総実労働時間

増加した主な産業	時間	前年比(%)
教育、学習支援業	155.5	14.1
	128.9	0.9
減少した主な産業	時間	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	97.7	▲ 14.9
医療、福祉	139.9	▲ 8.3

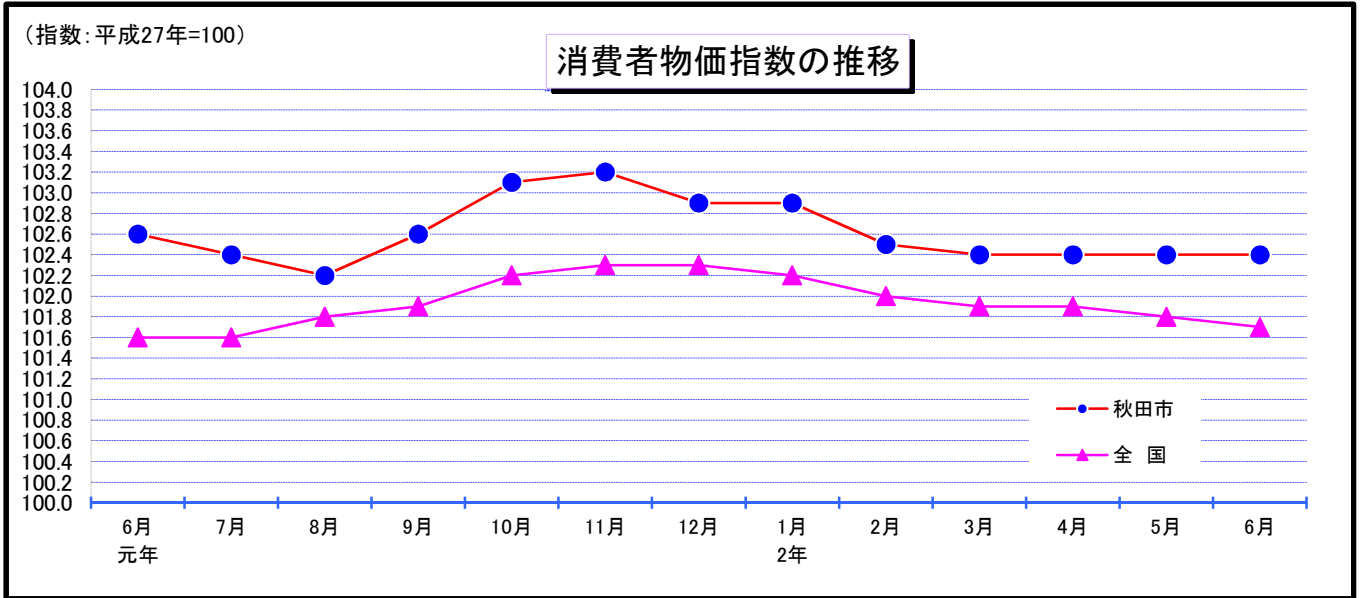
3 常用雇用指数

増加した主な産業	指数	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	113.5	5.3
減少した主な産業	指数	前年比(%)
学術研究、専門・技術サービス業	94.2	▲ 10.6
金融業、保険業	90.9	▲ 5.9
宿泊業、飲食サービス業	93.2	▲ 5.3

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和2年6月分)」)

令和2年6月の秋田市消費者物価指数は102.4(平成27年=100)となり、前月と同水準、前年同月比で0.2%の下落となった。

なお、全国の消費者物価指数は101.7となり、前月比(季節調整値)で0.1%の上昇、前年同月比で0.1%の上昇となった。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

	食料				住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費			
	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合												
当月指数	102.4	102.0	102.5	101.3	107.2	109.4	106.7	101.1	99.4	102.5	104.5	105.2	97.2	100.6	103.9	96.7
前月比(%)	0.0	0.1	0.0	-0.1	-0.2	-1.9	0.1	-0.1	0.5	0.4	-0.4	-0.1	0.6	0.0	-0.1	-0.5
前年同月比(%)	-0.2	-0.6	0.4	0.3	1.8	6.0	0.9	1.1	-4.7	3.3	-0.3	0.7	-1.8	-8.5	0.5	-5.6

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食料	生鮮果物	19.5	0.25
住居	設備修繕・維持	6.6	0.19
家具・家事用品	家庭用耐久財	4.5	0.05

〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
光熱・水道	電気代	▲1.6	▲0.06
諸雑費	他の諸雑費	▲16.0	▲0.39
交通・通信	自動車等関係費	▲4.4	▲0.37

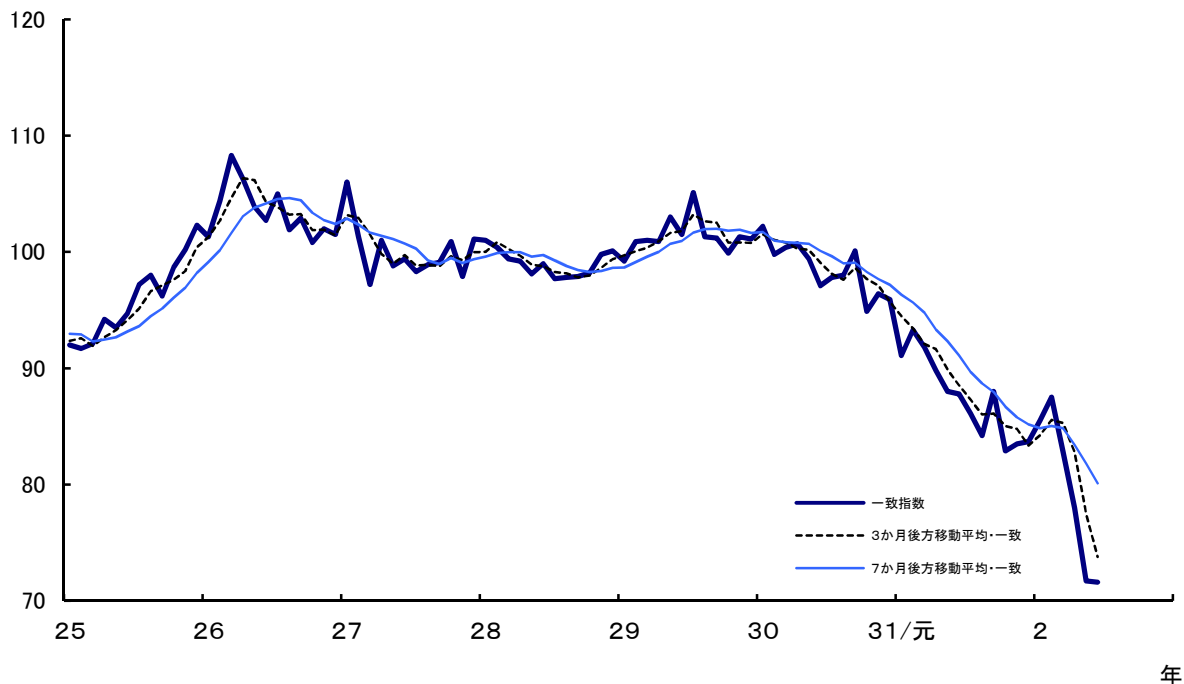
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(令和2年6月分)」)

先行指数 94.8 前月を17.5ポイント上回り、4か月ぶりに上昇した。
 一致指数 71.6 前月を0.1ポイント下回り、4か月連続で下降した。
 遅行指数 94.3 前月を0.6ポイント上回り、2か月ぶりに上昇した。

一致指数のグラフ

(平成27年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.28	1.24	-0.04	-0.83
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	2.4	19.4	17.00	-1.09
所定外労働時間指数(27年=100)	84.9	82.4	-2.94%	-0.33
鉱工業生産指数(27年=100)	92.5	95.5	3.24%	0.55
生産財生産指数(27年=100)	85.3	81.2	-4.81%	-0.68
百貨店・スーパー販売額(%)	-1.1	1.2	2.30	0.31
投資財生産指数(27年=100)	89.3	100.2	12.21%	0.93
建築着工床面積(千㎡)	40	84	110.00%	1.13
CI 一致指数(全体値)	71.7	71.6	-0.1	

景況ダイジェスト（令和2年8月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容																																																													
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和2年7月17日公表	〔概況〕県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状態が続いている。 ・需要面をみると、個人消費は、持ち直しの動きがみられるものの、サービスを中心に落ち込んだ状態が続いている。公共投資は、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、弱い動きとなっている。設備投資は、弱めの動きとなっている。 ・生産は、減少している。 ・雇用・所得環境は、弱めの動きとなっている。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合〈秋田市〉）は、前年を下回った。																																																													
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用対策本部 （産業政策課） 令和2年6月分 令和2年8月6日公表	〔概況〕県内経済は、個人消費については、持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、サービス業では宿泊事業等を中心に悪化が続いている。製造業は、全体として落ち込んだ状態が続いている。 製 造 業：一部で持ち直しの兆しがみられるものの、輸送機械の低迷などにより、全体としては落ち込んだ状態が続いている。 建 設 業：公共投資は5か月連続で前年同月上回った。 小 売 業：全体としては強含みの動きが続いている。 サ-ビス業：新型コロナウイルス感染症の影響から、宿泊・観光事業を中心に悪化が続いている。 〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲47.1から▲24.2、現在の資金繰りは▲30.6から▲19.1、3か月前の業況見通しは▲31.8から▲27.4となっている。																																																													
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和2年6月分 令和2年8月号	〔概況〕県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しい状況にある。 電子部品の生産は弱含みの動きとなっているほか、機械金属、木材は大幅に落ち込んでいる。建設は、公共工事が増加傾向で推移しているが、住宅着工は弱い動きが続いている。個人消費も弱い動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。																																																													
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和2年8、9月号	〔県内経済概況〕足元は厳しい状況が続く県内経済。 最近の県内経済は、公共投資が増加傾向で推移しているものの、足元の住宅投資は減少傾向を強めています。また、個人消費は家電販売などに前年を上回る動きが見られますが、総じてみれば弱い動きとなっています。この間、生産活動は全体としては停滞感を色濃くしており、雇用情勢は依然高水準ながら悪化傾向を強めるなど、県内経済は新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き見られ、足元は厳しい状況が続いています。																																																													
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和2年6月分 令和2年7月31日公表	〔概況〕令和2年6月の有効求人倍率（季節調整値）は1.24倍。前月を0.04ポイント下回る。 （全国平均は1.11倍、前月を0.09ポイント下回る。） 有効求人人数（季節調整値）は前月に比べて0.7%減少、有効求職者数（同）は2.4%増加した。 ① 新規求人数は8,262人、前年同月比6.9%（608人）減少。同比14か月連続で減少した。 ② 有効求人数は19,543人、前年同月比17.1%（4,042人）減少。同比16か月連続で減少した。 ③ 新規求職者数は3,792人、前年同月比0.6%（21人）減少。同比9か月連続で減少した。 ④ 有効求職者数は16,504人、前年同月比0.9%（154人）減少。同比8か月連続で減少した。																																																													
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 令和2年7月度 令和2年8月4日公表	（負債額1,000万円以上の企業倒産） 倒産件数 3件 負債総額 5億3,600万円 前年同月比 +0.00% +120.57% 前年同月 3件 2億4,300万円 倒産件数は過去2番目に少ないが、負債総額は前年同月比で120.5%増加																																																													
情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和2年7月分 令和2年8月12日公表	〔業界判断指数〕単位：％P <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>業界全体</th> <th>製造業</th> <th>非製造業</th> <th>売上高</th> <th>収益状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月分DI</td> <td>-71.7</td> <td>-87.5</td> <td>-61.1</td> <td>-73.3</td> <td>-66.6</td> </tr> <tr> <td>7月分DI</td> <td>-61.6</td> <td>-70.9</td> <td>-55.5</td> <td>-55.0</td> <td>-56.7</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>10.1</td> <td>16.6</td> <td>5.6</td> <td>18.3</td> <td>9.9</td> </tr> </tbody> </table>	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況	6月分DI	-71.7	-87.5	-61.1	-73.3	-66.6	7月分DI	-61.6	-70.9	-55.5	-55.0	-56.7	比較増減	10.1	16.6	5.6	18.3	9.9																																							
業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況																																																											
6月分DI	-71.7	-87.5	-61.1	-73.3	-66.6																																																										
7月分DI	-61.6	-70.9	-55.5	-55.0	-56.7																																																										
比較増減	10.1	16.6	5.6	18.3	9.9																																																										
秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和2年7月分 令和2年8月13日公表	対前年度増減率 件数23件減少、請負金額31.4%減少 （金額単位：百万円） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">発注者</th> <th colspan="2">令和元年7月</th> <th colspan="2">令和2年7月</th> <th colspan="2">対前年度増減率(%)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>請負金額</th> <th>件数</th> <th>請負金額</th> <th>件数</th> <th>請負金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>43</td> <td>9,657</td> <td>44</td> <td>5,078</td> <td>2.3</td> <td>-47.4</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人等</td> <td>3</td> <td>70</td> <td>5</td> <td>108</td> <td>66.7</td> <td>53.5</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>170</td> <td>11,155</td> <td>148</td> <td>5,224</td> <td>-12.9</td> <td>-53.2</td> </tr> <tr> <td>市町村</td> <td>146</td> <td>6,465</td> <td>141</td> <td>8,254</td> <td>-3.4</td> <td>27.7</td> </tr> <tr> <td>地方公社</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>2</td> <td>31</td> <td>3</td> <td>126</td> <td>50.0</td> <td>300.2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>364</td> <td>27,380</td> <td>341</td> <td>18,791</td> <td>-6.3</td> <td>-31.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者</p>	発注者	令和元年7月		令和2年7月		対前年度増減率(%)		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	国	43	9,657	44	5,078	2.3	-47.4	独立行政法人等	3	70	5	108	66.7	53.5	県	170	11,155	148	5,224	-12.9	-53.2	市町村	146	6,465	141	8,254	-3.4	27.7	地方公社	0	0	0	0	-	-	その他※	2	31	3	126	50.0	300.2	合 計	364	27,380	341	18,791	-6.3	-31.4
発注者	令和元年7月		令和2年7月		対前年度増減率(%)																																																										
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額																																																									
国	43	9,657	44	5,078	2.3	-47.4																																																									
独立行政法人等	3	70	5	108	66.7	53.5																																																									
県	170	11,155	148	5,224	-12.9	-53.2																																																									
市町村	146	6,465	141	8,254	-3.4	27.7																																																									
地方公社	0	0	0	0	-	-																																																									
その他※	2	31	3	126	50.0	300.2																																																									
合 計	364	27,380	341	18,791	-6.3	-31.4																																																									

県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和2年8月4日公表	項目	内容					
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。					
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある					
		生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる					
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている					
		設備投資	2年度は増加見込み					
		企業収益	2年度は減益見込み					
		企業の景況感	「下降」超幅拡大					
		住宅建設	前年を下回っている					
		公共事業	前年度を上回っている					
東	管内の経済動向 東北経済産業局 令和2年6月分 令和2年8月19日公表	全体の動向：一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況にある。 鉱工業生産：低下傾向となっている 個人消費：持ち直している 住宅着工：弱まっている 公共投資：横ばいとなっている 設備投資：横ばいとなっている 雇 用：弱い動きとなっている 企業倒産：低水準にあるが、このところ増加している						
		項目	内容					
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。					
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある					
東北	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 令和2年8月4日公表	生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる					
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている					
		設備投資	2年度は減少見込み					
		企業収益	2年度は減益見込み					
		企業の景況感	「下降」超幅が拡大					
		住宅建設	前年を下回っている					
		公共事業	前年度を上回っている					
		景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・個人消費は、このところ持ち直している。 ・設備投資は、このところ弱含んでいる。 ・住宅建設は、弱含んでいる。 ・公共投資は、堅調に推移している。 ・輸出は、感染症の影響は残るものの、下げ止まりつつある。 輸入は、このところ下げ止まっている。 ・貿易・サービス収支は、赤字となっている。 ・生産は、総じてみれば、減少しているものの、このところ一部に持ち直しの兆しもみられる ・企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。 企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。 ・倒産件数は、増加がみられる。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 ・国内企業物価は、下げ止まっている。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、令和2年7月豪雨等の経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。						
全国	月例経済報告 内閣府 令和2年7月 令和2年7月22日公表	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・個人消費は、このところ持ち直している。 ・設備投資は、このところ弱含んでいる。 ・住宅建設は、弱含んでいる。 ・公共投資は、堅調に推移している。 ・輸出は、感染症の影響は残るものの、下げ止まりつつある。 輸入は、このところ下げ止まっている。 ・貿易・サービス収支は、赤字となっている。 ・生産は、総じてみれば、減少しているものの、このところ一部に持ち直しの兆しもみられる ・企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。 企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。 ・倒産件数は、増加がみられる。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 ・国内企業物価は、下げ止まっている。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、令和2年7月豪雨等の経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。						
		企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和2年6月調査分 令和2年7月1日公表	[業況判断DI] 単位：%ポイント	〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計
			製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業	
		2020 / 3月	-8	8	-15	-1	-4	
		2020 / 6月	-34	-17	-45	-26	-31	
変化幅	-26	-25	-30	-25	-27			